

2024年3月 東京地区百貨店売上高概況

2024年4月25日

I. 概況

1. 売上高総額	1,530億円余
2. 前年同月比(増減率)	10.9%(31か月連続プラス)
3. 店頭・非店頭の増減	店頭14.0%(92.5%)：非店頭-16.6%(7.5%) ()内は店頭・非店頭の構成比
4. 調査対象百貨店	12社 22店 (2024年2月対比±0店)
5. 総店舗面積	742,301㎡ (前年同月比：+2.0%)
6. 総従業員数	13,479人 (前年同月比：-3.5%)
7. 3か月移動平均値	8-10月 8.1%、9-11月 8.1%、10-12月 7.8%、 11-1月 7.4%、12-2月 9.7%、1-3月 11.7%

[参考] 2023年3月の売上高増減率は12.6%

【特徴】

3月の東京地区は、売上高10.9%増(31か月連続)、入店客数4.6%増(15か月連続)と、共に前年実績を上回った。インバウンドと高額商材が好調に推移した他、外商催事や物産展等も売上を牽引した。2019年比でも7.8%増とコロナ前の水準を大きく上回った。

商品別では、主要5品目全てで前年をクリアした。主力の衣料品(8.5%増/30か月連続)は、気温が上がらず春物は動きが鈍かったが、新生活需要やビジネスウェアの買い替え需要から、紳士、婦人共にスーツやジャケットが好調だった。卒入学のオケージョンは単品でも着回しが効くカットソーやスカート等のアイテムに動きが見られた。

身のまわり品(21.0%増/31か月連続)は、当月もラグジュアリーブランドが牽引する形で増勢が続いている。また新生活需要を背景に財布やバッグを購入する動きが活発化した他、ビジネスシューズも好調だった。雑貨(20.0%増/31か月連続)では、化粧品が国内外共に商材を問わず好調に推移し、一部商品では価格改訂前の駆け込みも見られた。美術・宝飾・貴金属は、外商催事やインバウンド需要から24.3%増(10か月連続)と、先月に続き2割を超える大幅な伸びを示した。

食料品(2.6%増/3か月連続)は、国内外の手土産需要やホワイトデー・ひな祭り等の歳時記需要を背景に、引き続き菓子が好調に推移した。花見商戦は桜の開花遅れが影響し、3月中は弁当・惣菜等が低調だったが、4月に入って平年並みの水準に戻している。

4月中間段階の商況は、前年比9.3%増(4/17時点)で推移している。2019年比でも17.7%増とコロナ前を大きく上回るペースで進んでいる。

【要因】

- (1) 営業日数増減 31.0日(前年同月比 ±0.0日)
- (2) 入店客数増減(回答店舗数で見る傾向値/前年同月比/有効回答数17店舗)
 - ①増加した：15店、②変化なし：2店、③減少した：0店
- (3) 3月歳時記(ホワイトデー、卒業・入学、新生活)の売上(同上/有効回答数11店舗)
 - ①増加した：4店、②変化なし：7店、③減少した：0店

東京地区百貨店 売上高速報 2024年3月

	売上高(千円)	構成比(%)	対前年増減(-)率(%)
総 額	153,098,759	100.0	10.9
紳士服・洋品	11,428,244	7.5	12.7
婦人服・洋品	25,039,812	16.4	11.4
子供服・洋品	4,247,403	2.8	-10.2
その他衣料品	1,630,245	1.1	-2.1
衣 料 品	42,345,704	27.7	8.5
身のまわり品	28,044,389	18.3	21.0
化粧品	17,600,233	11.5	22.4
美術・宝飾・貴金属	16,217,806	10.6	24.3
その他雑貨	5,159,663	3.4	2.2
雑 貨	38,977,702	25.5	20.0
家 具	2,026,490	1.3	10.3
家 電	839,878	0.5	-22.5
その他家庭用品	3,389,929	2.2	3.7
家 庭 用 品	6,256,297	4.1	1.1
生 鮮 食 品	3,209,746	2.1	2.5
菓 子	11,472,459	7.5	4.8
惣 菜	6,339,628	4.1	1.0
その他食料品	9,072,740	5.9	1.1
食 料 品	30,094,573	19.7	2.6
食 堂 喫 茶	2,616,486	1.7	7.6
サ ー ビ ス	2,006,928	1.3	8.4
そ の 他	2,756,680	1.8	-23.1

注) 構成比は計算処理上必ずしも100%にはなりません。

本統計には消費税は含まれておりません。

対前年増減(-)率(%)

商 品 券	1,652,326 千円	-5.9
従 業 員 数	13,479 人	-3.5
店 舗 面 積	742,301 m ²	2.0

営 業 日 数	31.0 日	前 年	31.0 日
---------	--------	-----	--------

Ⅱ. 商品別の動き

主要5品目は全てプラスとなり、身のまわり品、雑貨は二桁増となった。
 その他の品目は、婦人服・洋品、化粧品が31か月連続、美術・宝飾・貴金属が10か月連続でプラスとなったほか、生鮮食品、菓子が6か月連続でプラスとなった一方、子供服・洋品が21か月ぶり、家電が6か月連続でマイナスとなった。

【商品別売上前年比の寄与度とトレンド】

商品別	売上前年比 (増減率)	寄与度	トレンド
総額	10.9	—	31か月連続プラス
紳士服・洋品	12.7	0.9	2か月連続プラス
婦人服・洋品	11.4	1.9	31か月連続プラス
子供服・洋品	-10.2	-0.3	21か月ぶりマイナス
その他衣料品	-2.1	-0.0	2か月ぶりマイナス
衣料品	8.5	2.4	30か月連続プラス
身のまわり品	21.0	3.5	31か月連続プラス
化粧品	22.4	2.3	31か月連続プラス*
美術・宝飾・貴金属	24.3	2.3	10か月連続プラス*
その他雑貨	2.2	0.1	2か月連続プラス*
雑貨	20.0	4.7	31か月連続プラス
家具	10.3	0.1	6か月連続プラス
家電	-22.5	-0.2	6か月連続マイナス
その他家庭用品	3.7	0.1	2か月ぶりプラス
家庭用品	1.1	0.0	2か月ぶりプラス
生鮮食品	2.5	0.1	6か月連続プラス*
菓子	4.8	0.4	6か月連続プラス*
惣菜	1.0	0.0	3か月連続プラス*
その他食料品	1.1	0.1	2か月連続プラス*
食料品	2.6	0.6	3か月連続プラス
食堂喫茶	7.6	0.1	25か月連続プラス
サービス	8.4	0.1	3か月連続プラス
その他	-23.1	-0.6	14か月ぶりマイナス
商品券	-5.9	-0.1	2か月ぶりマイナス

(注) 化粧品、美術・宝飾・貴金属、その他雑貨、生鮮食品、菓子、惣菜、その他食料品については2006年1月から細分化した

お問い合わせは、日本百貨店協会 橘・長柴 まで
 TEL 03-3272-1666 ホームページアドレス <http://www.depart.or.jp>